





水錦

初編 上巻

隅田曙

伊東專三著

前島

和橋補修

梅堂

国政画

金松堂書肆

水錦隅田曙初編自序

此書の有喜世新聞第三百三拾五號(本年前)より題と設け。章と重ねて
 説續き。事の慶應の未年は癸卯。竟は本年の初は甲辰。いと長々たる
 物語りも。第三百八十一號(本月)の紙面より大團圓の局と結び。筆と閣き
 吸煙と煙草薫らる其折しも金松堂の主個来り。是と梓と彫めんと。
 乞とる儘よのふみもせ。又秃筆を取直し。夫が題號もそのつくみ。
 水錦と名附。例の無草稿は書記。先づ一袋とよへ。刷編八日
 るらび次出し。朝は編輯の局を開き。夕は刷方の手へ渡す。繁机茶屋卒
 の間。認め。紙面の遺漏と補ふ心得ゆ。漸々佳境に入らんと。自分勝
 手は保證致さ。江湖の君達へ云ふも更あり。新聞紙を見玉ひ。看客方
 も復読の愛顧と愛ふ。岳玉。梓元素より吾儕の幸ひ。此上ありと云はま。くのみ

明治十二年己卯四月下旬

伊東專三記





水錦 隅田曙 初編 自序

此書の有喜世新聞第百三拾五號(本年前)より題と設け。章と重ねて
 説續きし。事の慶應の末年に發り。竟は本年の初に畢る。いと長々した
 物語りも。第百八十一號(本前)の紙面より。大團圓の局と結び筆と閣き
 吸煙と。煙草薫らる。其折しも。金松堂の主個来りて。是と梓と彫めんと。
 乞とる。儘よのふみも。又禿筆と取直し。夫が題號もそのまゝ。
 水錦と名附る。例の無草稿と書記し。先づ一袋と与へし。嗣編八日
 る。び次出し。朝に編輯の局と開き。みは。刷方の手へ渡す。繁机茶亭卒
 の間。認めし。紙面の遺漏と補ふ心得ゆゑ。漸々佳境に入らんと。自分勝
 手。保證致す。江湖の君達へ云ふも。更なる。新聞紙を見玉ひ。看客方
 も復読の愛顧と爰に。玉玉。梓元の素より。吾儕の幸ひ。此上ゆ。と云ふまののみ

明治十二年己卯四月下旬

伊東專三記



く白巾

水野の奥方



○松川
文治

○水野の奥方
かまろ

水野光太郎



○塩田
おきん

○水野光太郎

特42
907

應三年
守御祭禮
牛嶋
氏子中

突端

野基やまき野基の野基の野基の
松川まつがわ松川の松川の松川の
松川の松川の松川の松川の

松川の松川の松川の松川の
松川の松川の松川の松川の
松川の松川の松川の松川の
松川の松川の松川の松川の
松川の松川の松川の松川の
松川の松川の松川の松川の

松川の松川の松川の松川の
松川の松川の松川の松川の
松川の松川の松川の松川の
松川の松川の松川の松川の
松川の松川の松川の松川の
松川の松川の松川の松川の

松川の松川の松川の松川の
松川の松川の松川の松川の
松川の松川の松川の松川の
松川の松川の松川の松川の
松川の松川の松川の松川の
松川の松川の松川の松川の

大帛刀



○塩田治平

○澤田

左内

氏子中



三

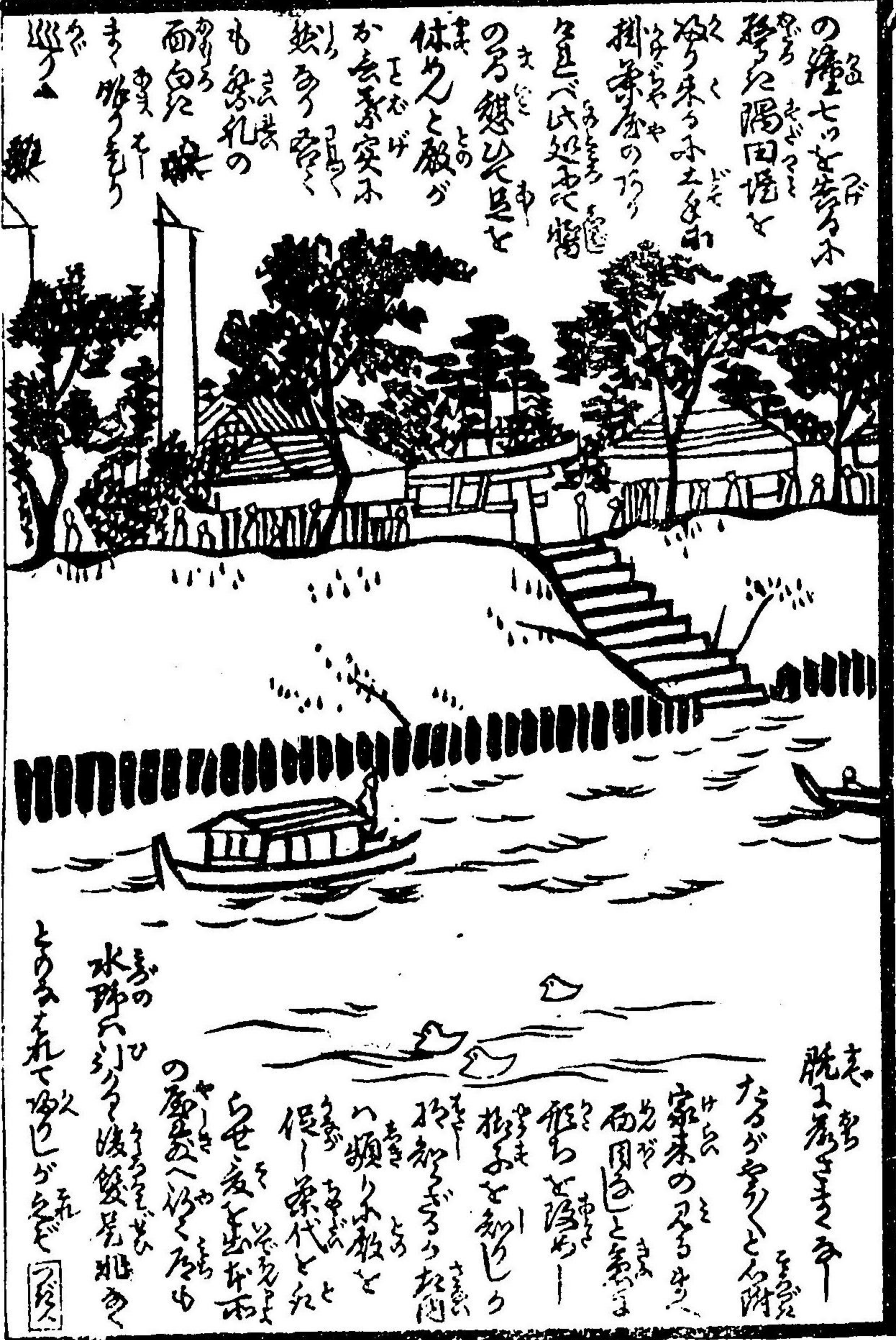
東都の勝地 隅田堤 真景



此処と見れば... 隅田堤の真景

▲この風景は... 隅田堤の真景

▲東都の勝地... 隅田堤の真景



の勝地と見れば... 隅田堤の真景

▲この風景は... 隅田堤の真景

夫はより服袴へよとてもなぐさまで
 相違いか性懐ゆふか使へもあ
 かりがまじきおれをひらり
 主女の御元正に徳をわ
 げたまふまひあまう
 斗らひねと負
 探検とて後日か
 去来未だ因の意
 色を離れてて人あたさ
 服の意中と何ふ小
 かん入りの衣の内
 百もあせすも休
 細と活せしむ左内
 奥方の意中の服へ
 左



勢とてあつてのめおおれたまふもあまう
 主のうとあつてのめおおれたまふもあまう
 手笑の教ががあまうもあまう
 二年あつてあまう
 女をかせ
 女をかせ
 女をかせ
 女をかせ

昔のあつとあま
 とあまう
 おの意中の
 家とてあま
 秋衣の
 田とてあ
 久重の
 女をかせ
 女をかせ
 女をかせ

水鏡初上
 女をかせ
 女をかせ



つぎ 奥方かまのしん擧げの
 生儀やまははれぬ擧げのはれぬ
 子兼後の口舌のさういふはれぬ
 左と口舌のさういふはれぬ
 も平な擧げのさういふはれぬ
 擧げのさういふはれぬ
 奥方のさういふはれぬ
 奥方のさういふはれぬ
 奥方のさういふはれぬ

▲先ほど擧げへやるといふを
 擧げのさういふはれぬ
 擧げのさういふはれぬ
 擧げのさういふはれぬ
 擧げのさういふはれぬ
 擧げのさういふはれぬ

奥方のさういふはれぬ
 奥方のさういふはれぬ
 奥方のさういふはれぬ
 奥方のさういふはれぬ
 奥方のさういふはれぬ
 奥方のさういふはれぬ
 奥方のさういふはれぬ
 奥方のさういふはれぬ
 奥方のさういふはれぬ
 奥方のさういふはれぬ

舟車
 舟車
 舟車
 舟車
 舟車
 舟車
 舟車
 舟車
 舟車
 舟車



大正十一年

つぎ書院
のちよ
女中の
声おきんさなへ
何処へかあまのしを
おぼろがはみしは
らうのうきをいん
さなくとあまら
目であらうのあつ
おきんさなへあつあまら
あまらあまらあまら
あまらあまらあまら

あまら
あまら
あまら
あまら

初編上の
巻ごり

橋岡編輯
銅版開化玉編 全

島田豊三郎編
開化女用文章 全

添崎延房編輯
近世紀聞 初編ヨリ
十編迄出版
鮮齋永濯画
以下遠方発売

芳川俊雄関 永島垂舟画
夜嵐阿鬼怒花仇夢 五編
大尾
國本勘造作

同編輯
義烈田天百首 全

魯文作
金花七變化 三編
三編マデ
追々出版

假名垣魚貝編輯
高橋阿傳夜叉譚 八編
大尾
守川周重画

秀賀作
濡衣女鳴神 十編
大尾
岡貞画

金地本問屋
錦繪問屋

金松堂
日本橋區横山町三丁目二番地
出板入辻岡文助

出板御届明治十一年五月八日

浅草花川戸一番地
伊東彦三郎方同居

編輯人 伊東彦三郎



編者 郷編輯
銅版開化王編 全

島田豊三郎編
開化女用文章 全

流時延身編輯
近世紀聞 十編迄出版
 以下追々発行

芳川俊雄 関永島孟春再
夜嵐阿鬼奴花仇夢 五編
 岡本勘造作

同編輯
美烈同天百首 全

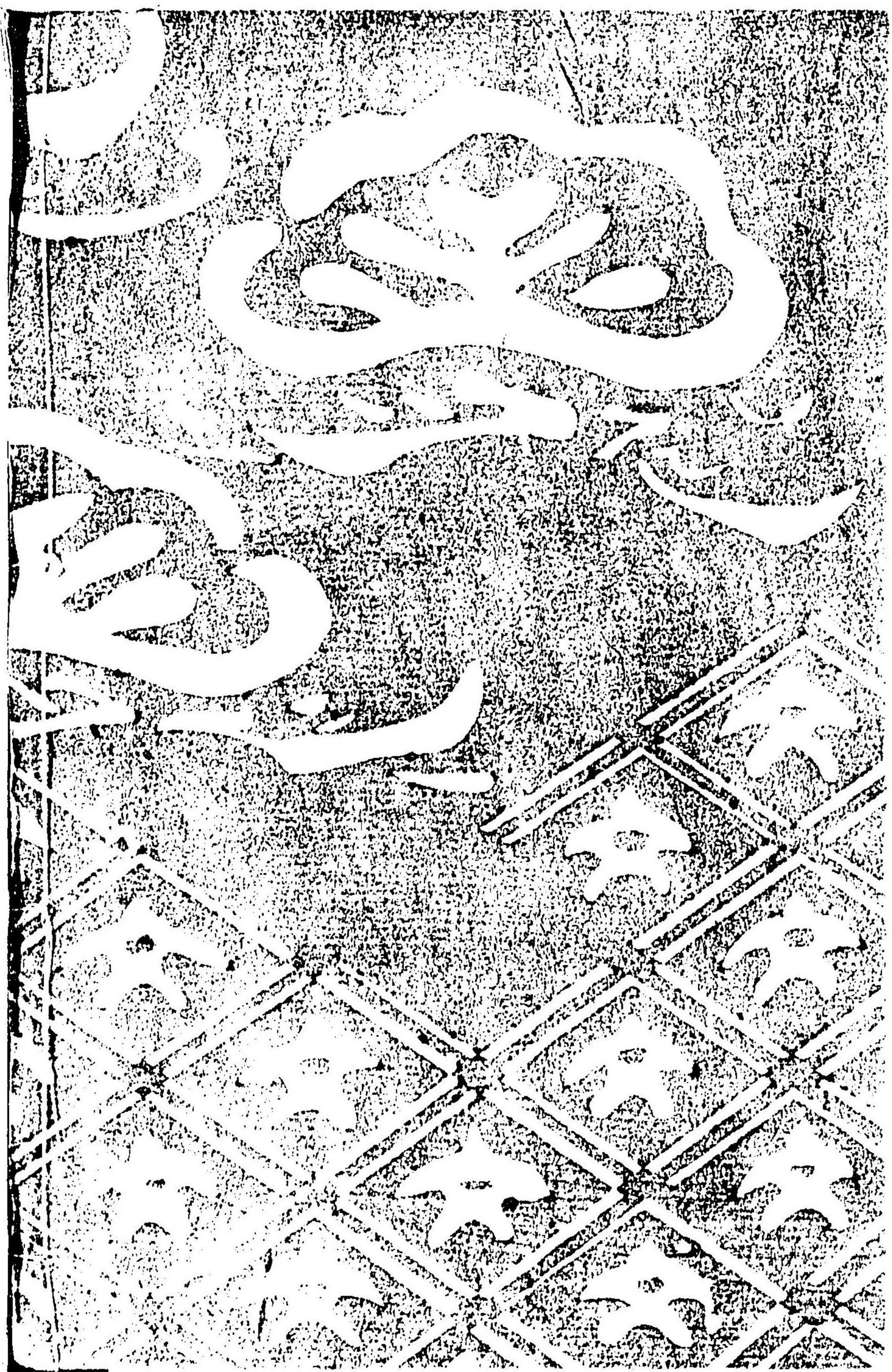
魯文作
金花七變化 三編マデ
 追々出版

假名垣角叟編輯
高橋阿彌夜叉譚 八編
 中川周吉画

秀賀作
濡衣女鳴神 十編
 岡貞画

金地本問屋
 金松堂 出版人 辻岡文助

出版 御届明治十五年五月八日
 浅草花川戸一番地
 伊東彦三郎方同居
 編輯人 伊東彦三郎
 日本橋區横山町三丁目二番地
 三





092043-001-4

特42-907

[絵本]

伊東 専三/編

M12

DBP-0968

